資料２－②

# 平成29年度第２回置賜地域保健医療協議会病床機能調整ワーキングの概要

## １　報告：第７次山形県保健医療計画の策定について

・　事務局より、次期県保健医療計画の策定について説明

## ２　協議

### （１）置賜広域病院企業団長期基本戦略について

### （２）置賜広域病院企業団第３次病院改革プラン≪改訂版≫について

### （３）公立置賜長井病院基本構想（案）について

・　基本構想策定後20年超が経過した置賜広域病院企業団が新たに策定した長期基本戦略や公立病院改革プランの改訂内容に基づき、保有する医療機能や入院・外来診療体制、地域包括ケア体制、人材の確保・育成等についての方針を説明。その内容について、質疑、意見交換が行われた。

### （４）置賜地域における各病院の医療提供体制の見直し等に係る検討状況について

（主な意見等）

・　米沢市医療連携あり方検討委員会では、以下の内容を意見書にまとめた。

①米沢市立病院は、経営の健全化、基盤強化を図るため、地方行政独立法人への移行を進めるとともに、救急医療体制の強化を図る。

②三友堂病院は、回復期医療を担う。

③現在、米沢市立病院と三友堂病院が担っている診察機能は、今後も両病院で分担。

④建替えは、平成35年度までに両病院の同時開院を目指す。

⑤医療連携のあり方として、地域医療連携推進法人を目指す。

・　精神科リエゾン患者の診察については、是非置賜全体で考えていただきたい。

・　高速道路がつながった後、患者がどのような動きをするのかが見えない。

・　コメディカルスタッフが集まらないのが目下一番の悩み。現在スタッフはギリギリで働いている。病棟も外来もギリギリ。人口減少に加えて労働力不足の影響も受けている。

・　人口減少に拍車がかかり、入院患者数の減少に歯止めがかからない状況。

・　看護師より介護スタッフの不足が先に深刻化するのではと危惧。介護スタッフが不足されれば通院介助ができなくなる。今回の保健医療計画策定は、介護保険事業計画と整合性を取りながら行い、病床数もそこを見越して検討していくこととしている。

○事務局から

・　病床機能調整ワーキングについては、管内病院の動向を見ながら、必要な時期に開催していく。